

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19

発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺

TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796

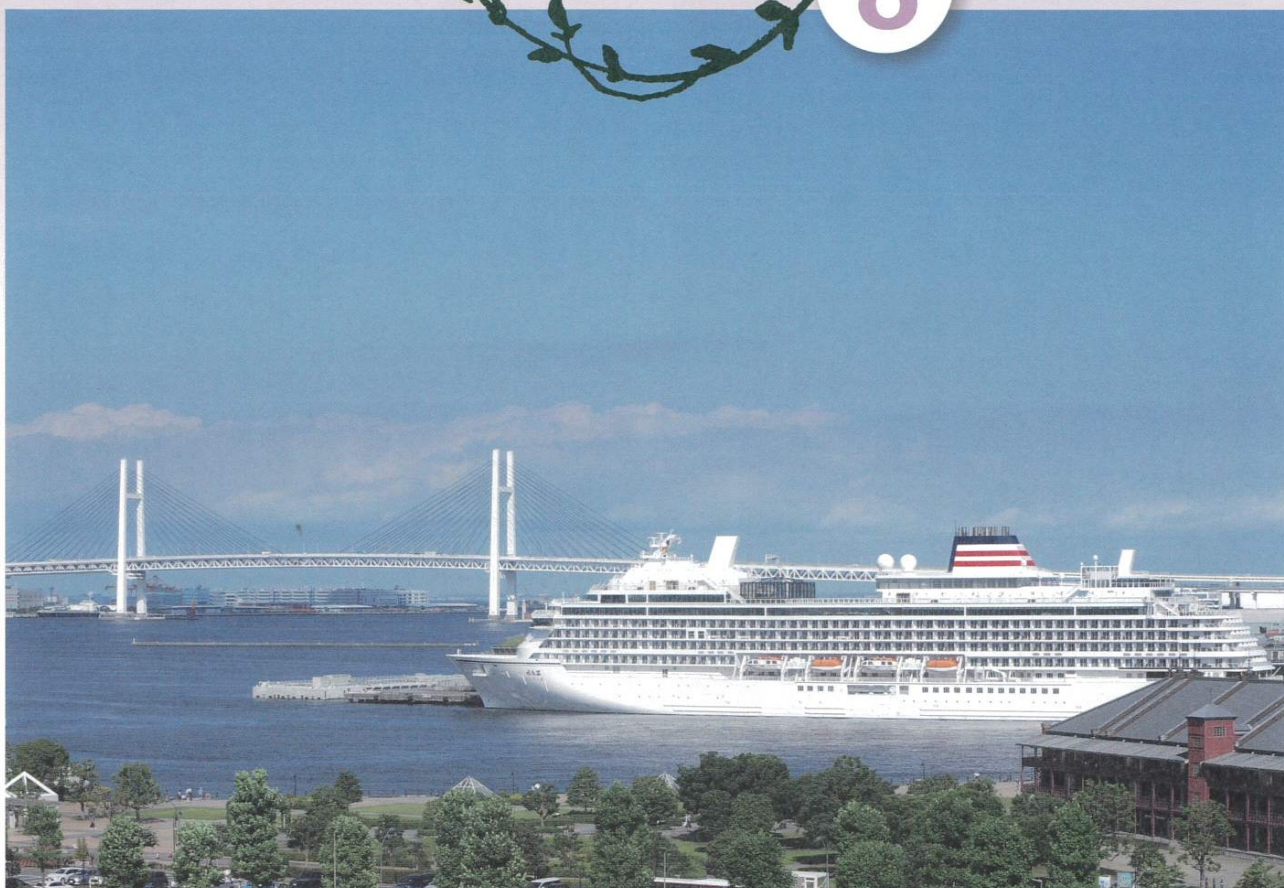
発行人 山崎 哲

編集長 仲井 真裕



令和8年
8月号

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



飛鳥III (横浜港 大さん橋国際客船ターミナル)

西徳寺の予定

8月

2日(日) 午後2時半 中央ブロック会間法会

場所:西徳寺

13日(木)～16日(日) 孟蘭盆会

22日(土) 午後2時 燈虹塾(和楽器体験)

30日(日) 午後5時 バーベキュー大会

参加希望の方は、
寺務所までご連絡
ください。

※予定は変更することがあります。

詳しくは寺務所までお問合せください。

9月

2日(水) 午後2時 評議員会役員会

5日(土) 午後2時 定例間法会

5日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ

法話:山崎住職

6日(日) 午後3時 燈虹塾主催

関東大震災追悼法要

16日(水) 午後1時半 婦人会間法会

20日(日)～26日(土) 秋季彼岸会

22日(火) 午後1時半 秋季永代経法要

法話:山崎住職・大橋伊知郎

8月の山門の言葉



そこに愛はあるのか？



先日、親しかったご門徒が還浄された。個人的に親しくさせていただいているご門徒には、「あなたに何かあれば、全力で葬儀式をお勤めします。その代わり、私が先だったらお焼香ぐらいは来てください」とお伝えしている。わざわざ言うことではないが、これが私にとってのご門徒と僧侶の関係であると思っている。

その言葉通り全力で葬儀を勤めたが、勤めながら感情に振り回されている自分に気が付く。そこで出てきたのは、自己満足ではないのではないかという問いであった。還浄されたご門徒は、「私は人生を充分楽しんだから、いつお迎えが来てもいいの」と言っていた。感情的に葬儀を勤める私を見て、「何を勝手に悲しんでいるのよ」と笑われるかもしれない。そんなことを考えている時に、昔テレビのCMで聞いたこの言葉が思い出された。「そこに愛はあるのか？」。

仏教では愛のことを貪愛^{とんあい}や渴愛^{かつあい}、愛欲^{あいよく}というように、自己への執着から現れる感情という意味で用いる。確かに人間愛や、世界平和を願うといっても、その範囲は限定されるであろう。私の愛はどこまでいっても自分の都合に左右され、あまねく愛し、慈しむことはできない。つまり私から出るのは愛でなく煩悩^{ぼんねう}しかないのだ。

キリスト教ではアガペー、仏教では慈悲という普遍的な愛を説くが、いずれも人間の心、私の心から現れるものではない。そうすると愛とは私から出るものではなく、与えられるものではないだろうか。

真実^{まこと}の愛とは自己満足の域を出ない私を悲しみ、本当の人間に目覚めて欲しいと願う、仏心のはたらきであった。賜^{たま}う、いただくところに愛がある。自己満足を他者に押しつけることとしかできない私の愛が、恥であったと知らされる。それが愛なのだ。愛と同時に恥を教わるのが、人間という存在なのである。

(仲井 真裕 記)

ランドマーク 飛鳥Ⅲ

8月、夏休みシーズンということで、今月は日本最大の豪華客船「飛鳥Ⅲ」を見に、横浜港大さん橋国際客船ターミナルを訪れました。

飛鳥Ⅲは郵船クルーズが運航するクルーズ客船で、令和7年7月20日から就航しています。重量は5万2,200総トン、全長230m、乗客定員は740名と国内最大級です。

客室はすべてプライベートバルコニー付きで、フレンチやイタリアン、割烹料理を含む6つのレストラン、グランドスパ(展望大浴場)の中にある露天風呂、カジノやプールに映画館と、洋上のリゾートさながらの空間が用意されています。

今は日本一周やショートクルーズを中心としていますが、将来的には世界一周などの長期クルーズも実施する予定だそうです。豪華な船旅、私も一度はしてみたいものです。もし乗船された方がいらっしゃれば、ぜひ感想をお聞かせください。



横浜港に着港したばかりの飛鳥Ⅲ

城北ブロック会総会・聞法会

6月21日(日)、池袋にある“くいもの屋わん池袋西口公園前店”において、総会と聞法会を開催いたしました。

総会では議案を審議いただき、会員の皆様にご承認をいただきました。聞法会のテーマは「コンプレックスという秘密」というテーマで、担当、私からは、人それぞれのコンプレックスがあるが、それでも自力をたのむ心はなくならないと話しました。山崎住職からは自分の心に縛られることを悲しむのが阿弥陀仏であり、人間の個人的なこだわりから解放されていく道が勧められていると話されました。

次回は11月8日(日)、西日暮里で聞法会を開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。
(担当：仲井 真裕 記)



城東ブロック会総会・聞法会

今回は初めての地、江東区森下文化センターにて開催しました。今村会長が議長を務め、総会は無事に終えることができました。

当会ではずっと二河白道を学んでおりますが、山崎住職より「よく絵では初めからお釈迦様も阿弥陀様も描かれ、行者は当然のように白道を歩んでいるが、決して初めからそうではない。本当に自分自身の問題になった時に現れる」とお話いただきました。知った気に、分かったつもりになっている自分に気づかされた時間でありました。

次回は10月25日(日) 松戸市民劇場にて聞法会を開催する予定です。 (担当：高橋 淳 記)



燈虹塾セミナー ご報告

江戸文化を学ぶ当塾であります、今回は江戸時代、滋賀県大津市を中心に人気を博した大津絵を研究されているフランス人学者・クリストフ・マルケ先生にお話を頂戴しました。

大津絵は土産物、観賞用、風刺画として庶民に愛されましたが、もともとは阿弥陀如来像など神仏画が描かれておりました。毛坊主という、僧侶でない方がご本尊の代わりに持ち歩き、庶民の家々にてお参りしていたそうです。どんな方をも救うという、阿弥陀如来のはたらきが事実あったのだと感じた時間でした。

(事務局：高橋 淳 記)



現存する多数の大津絵を飾っていただきました

お墓参りされる皆様へのお願い

平素より西徳寺墓地の護持にご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、墓地入口のゴミ箱に捨てられたお線香が原因と思われる出火が発生しました。お参りの方からのご報告により、大事には至りませんでした。

火が消えたように見えるお線香やロウソクでも、火種が残っていることがあります。お線香・ロウソクなどは、火が完全に消えていることをご確認のうえ、必ず【専用の廃線香入れ】へお捨てくださいますよう、ご協力をお願いいたします。



出火元のゴミ箱（段ボール）



専用の廃線香入れ

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
愚禿が心を顕す～

今年のお盆も多くの方がお墓参りに来られ、また新盆のお宅とご希望のお宅にお盆参りに伺いました。ご門徒の方とゆっくりと色々なお話ができる、大変有難いご縁をいただきました。ご門徒と僧侶という関係と同時に、人と人という関係性ができる喜びを毎年感じております。

“人間らしさ”という言葉がありますが、それはお互いに利害・損得を超えて、人との出会いや関わりを喜べることなのかな、と感じます。普段は自分のことしか考えられない私ではありますが、様々なご門徒の皆さんとの関りの中、また先立った方を縁として“人間らしさ”をいただいでいく歩みが、お盆や仏事という機縁なのかもしれませんね。

来月8月のお盆は長期休暇を取られる方が多いと聞きます。また皆様のお参りをお待ちしております。（編集長 仲井 真裕 記）



神社へお参りする娘2人

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <https://saitoku-ji.jp>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook